

平成25年度施策評価調書

整理番号	2
評価担当課	総務部 財政課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	財政の健全性の確保		
総合計画の位置づけ	基本目標	1	市民と行政の協働によるまちづくり
	主要施策	7	健全な財政運営

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	一般会計の歳入において、自主財源である市税では約30%、依存財源である地方交付税では40%を占める状況にあり、本市の財政力は脆弱であるといわざるをえません。また、普通交付税における合併算定替の削減、合併特例債の使用残高の減少、老朽化し更新が必要な社会インフラなど、将来における名寄市財政は必ずしも楽観できるものではなく、これらに関する情報を提供することにより、協働のまちづくりを進めることが重要です。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	自主財源の確保のため、市税徴収率の向上や、遊休資産の売却を進めています。また、平成22年度決算から、公会計制度により財務諸表を作成しています。将来の財政推計では、毎年度の総合計画ローリングを反映させた中期財政計画を策定し、今後の公債費負担を含めた持続可能な財政運営を裏付けています。またこれらの情報開示に努めています。
施策の課題	地方交付税に代表される依存財源については、市の関与できるものではなく、行財政改革の推進や、基金の的確な活用をなどにより、財政運営を進める必要があります。名寄市の財政状況をできるだけ分かりやすく、市民に伝えることが協働のまちづくりの基本となりますが、国の地方財政に対する動向が流動的であり、ポイントを絞って伝えにくい状況下にあります。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H22	H23	H24	目標年度(25年度)
市税徴収率	歳入における市税の徴収率(滞納繰越分を含む)	目標値(※1)	92	92	93	93
		実績値	95	96	97	
		進捗率	103%	104%	104%	
遊休地処分	毎年度において公募する遊休地処分(売却)の実績(件数)	目標値	2	2	2	2
		実績値	0	1	1	
		進捗率	0%	50%	50%	
実質公債費比率	実質公債費比率(起債の借入基準)の適正な管理(値が小さいほど借入負担が少ない)	目標値	20	16	16	16
		実績値	16	15	13	
		進捗率(※2)	125%	108%	123%	
財務諸表の公表	財務4表(バランスシート、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計画書)の公表状況	目標値	4	4	4	4
		実績値	4	4	4	
		進捗率	100%	100%	100%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

※1:全道35市における前年の収納率平均値で設定

※2:進捗率は、目標値÷実績値で算出(値が小さいほど借り入れ負担が少ないため)

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	収納率は他市町村に比較し良好です。遊休地処分については、宅地用のみならず、市が所有する広大地の情報も提供し、さらに処分を進める必要があります。他の指標は達成しているため、概ね順調としました。	A:計画目標に向けて順調に推移 B:計画目標に向かって概ね順調 C:計画目標に向けて進捗はやや遅れている D:計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後とも、より効率的な行財政改革に取り組むとともに、持続可能な財政運営を目指します。

6 外部評価の意見等

7 2次評価の意見等

市民税の適正徴収のため様々な対策を講じ、収納率は全道都市トップクラスとなっている。また、遊休公有地についてはインターネット公売を活用するなど処分に努めている。実質公債費比率は全国平均値を上回っているが、年々改善を進めてきており、減債基金については、合併算定替終了を視野に入れ、積立額を増額してきている。これらの取組みを継続する必要があり、A評価とする。

8 施策を構成する事務事業

(1)H24年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H24決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
該当する事務事業無し											

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)